NOMA
NIPPON OMNI-MANAGEMENT ASSOCIATION

東京開催

関係部門へ
ご回覧ください

＜改訂版＞　現場を巻き込み、監査の実効性を高める

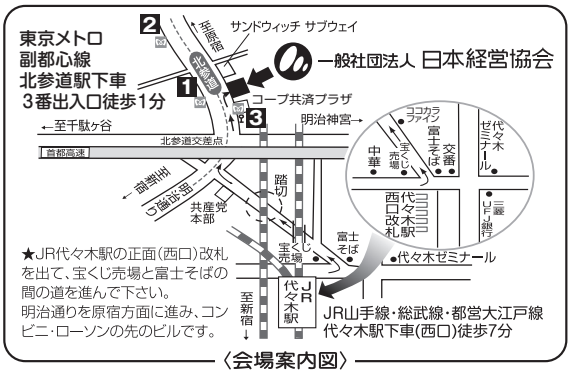
実践的『監査コミュニケーション技法』マスター講座

日　時　2020年６月３日㈬　10：00～17：00（6H）

会　場　東京・代々木・本会内セミナー室（右図参照）
東京都渋谷区千駄ヶ谷3−11−8　ＴＥＬ(03)3403−1972(直)

講　師　日本マネジメント総合研究所合同会社　理事長
公認不正検査士（CFE）
戸村　智憲 氏

対　象　監査役、内部監査部門、リスク管理部門、総務部門、内部統制部門、コンプライアンス・ＣＳＲ部門、監査法人、監査系コンサルタント、ＩＳＯ部門など



〈会場案内図〉

主催　一般社団法人 日本経営協会

開催にあたって

監査にあたる方、内部統制・リスク管理などの推進担当として仕事をされている方などにとって、現場の方からその重要性や意義を理解されずに反発されたり支障が生じたりするのは、とても辛いことですし監査の実効性にも影響を与えます。現場を巻き込み、腑に落ちる指摘や指導を通じて現場の参画意識を高めながら進めなければ、現場での自主的・主体的な変革意識は生まれません。そのためには、相手が納得する監査やリスク管理対策などを、より円滑で相手に寄り添うコミュニケーションを通じて対応することが大切です。

そこで本講座では、監査・内部統制・リスク管理などの実践現場において不可欠となるスキル・ノウハウとして、「監査におけるコミュニケーション・リスク」の具体的対応策をお届け致します。実効性ある監査へ向けた「監査コミュニケーション技法」について、多くの方々のお悩みや実例を踏まえて解説いたします。

参加料［テキスト・資料代含む］	参　加　料	消　費　税	合　　計
日本経営協会会員（1名）	30,000円	3,000円	33,000円
一　　般　（1名）	37,000円	3,700円	40,700円

■早割・複割について【最大4,400円（税込）割引】

・早割（早期申込割引）お申込みされた講座のうち、開催日がお申込み日より２ヵ月以上先の講座について参加料を１講座１名あたり2,200円（税込）割引させていただきます。
・複割（複数申込割引）複数名のお申込みで、参加料を１名あたり2,200円（税込）割引いたします。（ただし、同時にお申込みの場合に限ります）

■申込・支払方法

参加申込書に必要事項をご記入のうえ、郵送又はＦＡＸにてお申込みください。追って、振込口座名を記載した請求書と参加券をご派遣責任者（連絡担当者）までお送りします。不着の場合は必ず電話にて確認ください。参加料のお振込みは原則として請求書に記載されましたお支払期限までにお願いします。

●振り込み手数料は貴社（団体）にてご負担ください。また、領収書は「振込金受領書」をもってかえさせていただきますのでご了承ください。
●万一ご都合が悪くなった場合は代理の方がご出席ください。
●教材は原則として当日会場にてお渡しします。
●参加者が少数の場合、天災の場合などにおいては中止・延期させて頂く場合があります。すでにお振込の場合は、全額返金させていただきます。
●録音録画、撮影等は原則として出来ません。ご了承ください（特記の場合を除く）。

■キャンセルについて

開催日の３営業日前からは30%、開催当日は100%をキャンセル料として申し受けます。なお、当日までに連絡が無く欠席の場合は、100%のキャンセル料となりますので、あらかじめご了承ください。

■会員入会手続きについて

入会の詳細および特典については、ホームページの「会員検索／ご入会のご案内」をご参照ください。

■WEBお申込みの流れ

1 一般社団法人日本経営協会 ホームページ　http://www.noma.or.jp
2 「セミナー／講座」を選択
3 「セミナーを探す」よりカテゴリーを選択
4 ご希望セミナーを検索。ご希望のセミナー名をクリック。
5 ご希望セミナー詳細の最後の「WEB申込」からお申込み
6 お申込みをいただきますと、確認メールが届きます。

お申込み・お問合せ先　一般社団法人 日本経営協会
企画研修グループ　●担当：緒方
〒151−0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷3−11−8
TEL(03)3403−1972(直)　FAX(03)3403−8417
E-mail:tms@noma.or.jp　URL http://www.noma.or.jp

キ ― リ ― ト ― リ ― セ ― ン

一般社団法人　日本経営協会　企画研修グループ 宛
ＦＡＸ(03)3403−8417

年　月　日　事務局使用欄　No.

参加申込書　**実践的『監査コミュニケーション技法』マスター講座**　15053　2020.6/3 10：00開講 NOMA

企業(団体)名	フリガナ	TEL		□会　員　□一　般（該当にレ印をつけて下さい）	
所　在　地	〒	FAX		業　種	
				従業員数	名

参加者氏名	所属・役職	早・複割	メールアドレス
フリガナ		早・複	e-mail：
フリガナ		早・複	e-mail：
フリガナ		早・複	e-mail：

請求書・参加券送付先	フリガナ	所属・役職		メールアドレス	e-mail：

参加申込書にご記入いただいた情報は、以下の目的に使用させていただきます。
①参加券や請求書の発送などの事務処理　②セミナー・イベントなど本会セミナー(事業)のご案内　※なお、②がご不要の場合は□にチェックしてください。―□不要
※今後eメールによるご案内も予定しています。ご希望の方は、ご記入ください。

―「内部統制・リスク管理がなぜ現場に嫌われるのか」という疑問や悩みに対応!―

プログラム内容

1．なぜ監査が現場から嫌われるのか
～問題を指摘するだけの「検査」で終わっていないか～

- “経営に資する監査”という監査人の陥りがちなワナ
  ～多くの監査人が監査における自己矛盾を犯してしまうポイントを解説！
- 日本版COSOモデルを噛み砕いて指導できているか？
  ～戸村式のわかりやすいCOSOモデル解説を監査指導に活かす！
- 今の監査・リスク管理・内部統制にあるＰＤＣＡの欠落とは
  ～課題を指摘する「検査」だけにとどまっていないか
- 明るい監査･リスク管理に向けた「内部統制リテラシー」とは
  ～現場との簡単な共通言語を根付かせることから
- 隠れた実態を知り、「現場と共に解決策探し」する対応策
  ～現場目線で取り組む組織の問診、触診、ＣＴスキャン
- 内部統制は「内部自治」であるということ
  ～健全に収益を上げ続けるしくみ・プロセスの構築のために

など

2．いま求められる、監査コミュニケーション技法
～「課題解決への監査」の現場実践に向けて～

- 監査人に必須の「懐疑心」と陥りがちな監査対応のワナ
- 面接調査技法①～⑤＆番外編

①事実確認と証人集めのための流儀 ②不正の兆候を見抜く監査コミュニケーションのコツ これらのほか、番外編を含め５例をご紹介

- 指導時の会話で相手を尊重する監査対応①～⑤

①相手を尊重する指導にする会話のニュアンス このほか、４例のワザとコツをご紹介

- コーチング型監査（CBA）の３ステップ
- 相手の反応を知るための５つのパターン
- 課題解決に向けた説得の３パターン
- 監査における非言語コミュニケーションの影響と対策
- 監査人やリスク管理者に必要なスキルや素養
- IT監査技法による時間節約でココロに向き合う時間を

など

3．内部統制の有効性を高める監査コミュニケーション
～現場を巻き込む「明るい監査」の確立に向けて～

- 明るい監査に向けた基本姿勢と流儀①～⑤

①現場社員の身の潔白を代わって証明するということ ②潔白を証明するためのチェックであるという姿勢 これらのほか、秘伝の３例をご紹介

- 現場立ち入りへの抵抗感をなくす工夫
- 内部通報への真摯で安心感を与える対応
- ＣＳＡ（コントロール･セルフ･アセスメント）による現場を巻き込む対応
- 明日から使える監査ファシリテーションの「７つ道具」
- 改正法や時事問題にからむ監査上の要点・注意点・対応策

など

4．質疑応答・まとめ

- 講義内容以外にも、監査・内部統制・リスク管理等、お気軽にご質問下さい。

※最新動向や当日ご参加の皆さまのご関心事などによって、プログラムや項目等をアップデート・変更させて頂く場合がございます。

担当講師より

SDGs・ESGや非財務情報重視の経営環境など、監査でこれから必要なポイントを、毎回好評の時事・時節に即した「監査アップデート」を交え、監査人の総合的なスキルアップと本質的理解もお届けします。

※出張研修も承っております。
表面のお申込先までお問い合わせください。

講師プロフィール

日本マネジメント総合研究所合同会社　理事長
公認不正検査士（CFE）
戸村　智憲 氏

早稲田大学卒。米国 MBA 修了（全米トップ 0.5％のみ授与される優秀大学院生受賞）。米国博士後期課程（Ph.D）中退。国連勤務にて、国連内部監査業務の専門官、国連戦略立案専門官リーダーなどを担当。民間企業役員として監査統括、人事総務統括、上場 IT 企業 JFE システムズ㈱アドバイザー、経営行動科学学会理事、JA 長野中央会顧問、岡山大学大学院非常勤講師などを歴任。監査法人の代表社員をはじめ、公認会計士や弁護士、大手コンサルタントなどの専門家を指導する講師としても登壇。NHK「クローズアップ現代」TV 出演・番組監修、テレビ朝日「そうだったのか！池上彰の学べるニュース」番組監修などをはじめ、TV・ラジオ・新聞・雑誌などでの出演・寄稿・連載多数。経営指導・講演・書籍執筆の３つの柱で活動し、全国各地にて年間 120 講演程度。指導先は上場最大手企業から中堅中小企業、金融機関、商社、医療福祉機関、農協、自治体、学校法人など経営陣から各階層まで幅広く担当。コーポレート・ガバナンス・アワード主宰、日本取締役協会会員、日本内部統制研究学会正会員など産学ともに活動中。現在の著書 33 冊。代表作に『クリエイティブ監査への道：“経営に資する監査”の再考と再興』（税務経理協会）、『企業統治の退廃と甦生』（中央経済社）、『ビッグデータ活用の５つのワナと経営視点での戦略的活用術』（アロハ出版）など。日本の人気講師ランキング３位（日経産業新聞しらべ）。

FAX (03) 3403-8417